



「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により家・建物を地域の公益的かつ営利を目的としないまちづくり活動の場として地域に役立てる取り組みです。

# 地域共生のいえ かわら版

## 第3号

発行月：平成26年8月1日

発行：一般財団法人世田谷トラストまちづくり

ふ れ る ・ つ な が る ・ ひ ろ が る

## 2014年7月、16ヶ所目の「いえ」が誕生しました！

今号でとりあげる“いえ” シェア奥沢 1 野草の会・こめこめ庵 2 眞喜楼 3  
COSちとふな 4 ルツの家×おでかけひろば@あみーご 5 在林館 6



### 1 シェア奥沢



#### 止まっていた時間が再び動き出して

「土とみどりを守る会」で奥沢グリーンマップを作製するなど、まちのみどりを守る活動を通して、地域とのつながりを育ててきた多摩美術大学教授、堀内正弘さん。堀内さんの自宅母屋から続く空き部屋と庭が「シェア奥沢」だ。東急東横線自由が丘の駅からほんの10分。静かで居心地の良い空間が訪れる人を出迎えてくれる。世田谷区の空き家等地域貢献活用モデル事業に採用され改修を行い、2014年7月に地域共生のいえ「シェア奥沢」としてオープンした。「シェア」という言葉は「シェアハウス」を連想しがちだが、ここでは共通の関心事で集まる人達が、場や時間、体験を「シェア」するコミュニティスペースと位置づける。

駅前の雑多な喧騒を抜けて、シェア奥沢のたたずまいに身を置くと、夏でも涼しい風がそよいで、昭和の時代まではこの家も、どこの庭もこんな風に素朴な風情だったことが伺われる。「ここは2間続きの和室で、大正末期にこの地に家を建てた祖父の隠居部屋でした。その後は親戚が住んでいましたが、長い間空き家になり、ゴミ屋敷状態でした」

ある時、大学の教え子だった若者がこのスペースをアトリエとして使いたいと申し出てきた。「自分で片づけるならば」と話したところ快諾し、片づけはじめたという。1人の若者が労働力を「シェア」することによって止まっていた家の時間が動き出した瞬間だった。動き出した時間は楽しさとともに、色々な人を巻き込んでいく。おりしも港区にあったコミュニティスペース「三田の家」の閉鎖が決まり、そこを使っていた「共奏キッチン」の参加者たちが、今後はシェア奥沢を使いたいということで、片づけに協力してくれた。部屋の修繕や庭の整備を手伝い、古い畳を上げ床にスギ板を張り、「シェア奥沢」

が出来上がっていった。現在は音楽会や講座、シェアキッチンといった様々な使われ方がされている。

「いやあ、若い人に助けてもらいました。僕が一番楽しくって仕方がない。高齢で介護を必要とする母がいるので、皆さんがいらしてくださることで母も僕も居ながらにして、情報や楽しい時間を共有できる。華やいだ時間をシェアできているのです」  
また、利用する人が場づくりにも参加することでその人にとっても居心地の良い場所になるという。



#### なつかしくて、新しいコミュニティの場へ

開催するイベントの交流タイムでは、キッチンでつくられたおいしいお料理で、立場も年齢も違う人達がなごやかにうちとける。堀内さんはこのいえで、様々な立場の人がコミュニティへの関わり方を見つける場になっていったら嬉しいと話す。

私達日本人には、盆や正月にはたくさんの親戚が集まって、子どもも大人も、高齢者も、時間や価値や情報を「シェア」してきた歴史がある。かつての血縁関係ではない、友人やグループ、共通の関心事といった新しいかたちかもしれないが「シェア」することは、こういった場があればごく自然なことに思える。「なつかしくて、新しい」堀内さんの試みは、これからもたくさんの幸せな「シェア」をもたらしていく予感がする。

■DATA  
所在地 世田谷区奥沢 2-32-11  
連絡先 03-6421-2118  
<http://share-okusawa.jp>  
<http://www.facebook.com/shareokusawa>

## 新生こめこめ庵 スタートしました！



### 2 野草の会・こめこめ庵

#### テレビ番組で紹介されていた団体と連絡をとって

閑静な住宅街の中、弦巻通りを一步入ったところに縁側が見える。ふと縁側から中をのぞくと、ゴロリと昼寝でもしたら気持ち良さそうな量の間が見える。「お茶っこだものんでぐか？」  
温もりのある山形の言葉で迎えてくれるのは、こめこめ庵オーナーの米村よね子さんだ。自宅で料理を作って皆に食べてもらい、話に花を咲かせるのが大好きで、ごく自然なかたちで25年間続いてきたそうだ。地域共生のいえではあるが、そういう名前ができるはるか以前から地域の居場所を提供してきた米村さん。お仲間もたくさんでき、助け、助けられてきた。だが米村さんも年を重ね、健康に不安が出てきた。

皆さんの集まる場所は大切にしたいけれどと思いついてた時に、たまたまテレビで紹介されていた「特定非営利活動法人 自立支援センター ふるさとの会」のことが目に留まる。主に台東区や新宿区などで生活支援や就労支援に取り組んでいる団体で、放送では空き室や空き家を利用して、住み慣れた地域で居場所を提供している取り組みが紹介されていた。ここに支援してもらえたら。「これだ！」

この時、傍らにいた娘さんである野口桂子さんに相談し、早速電話をかけた。こうと決めたら即断即決。

一方連絡を受けたふるさとの会としては、まずは米村さんのお話を伺ってということになり、こめこめ庵を訪問。米村さんの想いを聞き、米村さんのお仲間とも運営方法などの協議を重ねた。そして2014年5月から週に一度水曜日に「こめこめカフェ」の開催が決まり、ふるさとの会が運営のとりまとめを担うことになった。

■DATA  
所在地 世田谷区弦巻1-37-10  
連絡先 03-3428-2284  
活動日 水曜日 11:00~15:00  
※5週ある月は第1週が休み



訪れた日はおいしいご飯と、米村さんのお漬物、そしてギター演奏が迎えてくれた。歌詞カードが配られ、皆がのびやかに懐かしい歌を口ずさむ。食べて、歌って皆が笑顔。米村さんが守りたかった時間がここにある。ふるさとの会の鈴木宏仁さんは「米村さんのいえには縁側があって、人が集まってくる。地域と境目のない状態ができあがっている。僕らはそれを少しお手伝いさせてもらって支えていけたらと思います」と話す。

#### 新たな活動のかたち

いえの持ち主が高齢になっても、自分が今まで通りにはできなくなっても、引き継がれるであろう場のひとつのかたちとして米村さんのようなケースは注目される。娘さんも「ずっとこうして色々な人が出入りする家だったから、私が生きている限りは見守るよ」とあたたかい。

「これだ!と思ったら一直線さ。人生は博打と一緒だよ」と豪快に笑う米村さん。今のこの穏やかなつながりが守られることを願っている。このご縁をきっかけに米村さんのアパート管理のサポートなど連携も進んでいる。新しいかたちでのスタートを切ったこめこめ庵、ふるさとの会とのコラボレーションは今後も注目される。

## 「私もやってみたい」から「私にもできた」の1年に



### 3 眞喜楼 「基」コミュニケーション・サロン

「そうきたかー、じゃあここ！」この日、眞喜楼ではみなで机を囲むティー・タイムでも囲碁談議に花を咲かせていた。自宅を月に2回、囲碁のサロンとして開いて1年が過ぎた。オーナーの大澤佳子さんは、「いつかは私も自分の家で何かやって

みたい」と思った日々が今、結実していると語る。6月には1周年記念をお祝いしに近くの居酒屋へ。利用者20名ほどが集まり盛り上がった。「やってみたい」から「私にもできた」へ。まちに開いた基コミュニケーションの場は確実に進化しているようだ。

## 最近のトピックス



■DATA  
所在地 世田谷区砧6丁目  
連絡先 03-3415-1406  
活動日 第2,4木曜日 14:00-17:00

## 「ちとふなキッズフェスタ」準備会が立ち上がりました



### 4 COSちとふな いろいろな人が交わる場

5月下旬、オーナーの山崎富美子さんとCOSに入居する5つの地域活動団体が「キッズフェスタ」準備会が立ち上がった。COSの多目的室の利用団体、地域の方々も協力する一大イベント。千歳船橋駅前やCOSの駐車スペースを使い、

子どもたちが楽しめる昔遊びやものづくりのほか、フリーマーケットを行う。6年目となる今年は、11月16日(日)に決定。現在、子どもたちが楽しめる企画を「知恵を絞って」検討中。子どもたちの参加も当日のお手伝いも絶賛募集中だ。

## 最近のトピックス



■DATA  
所在地 世田谷区船橋1-1-2  
連絡先 03-3420-6060  
※キッズフェスタの詳細は10月頃 <http://coscf.blog.fc2.com/> (COSちとふなブログ) にアップします。

地域共生のいえ かわら版 第3号

## 開いてる日、週5日に増やしました!

**5 ルツの家**  
×おでかけひろば@あみーご  
放牧する子育て



に来ることと水遊びがセットになっているんです」と志田さん。地域の子育てに寄り添うこの場所は、今ではなくてはならないものへと変わってきている。「元気な時もそうでない時も」いつでも顔を見せられるように。子どもは思い通りにはならないし、疲れてしまう時もあるかもしれない。辛い思いを内在させてしまわずに、ここに私達はいるから、頼ってみてねと託児も始めることにしたという。

### 時が成熟し、次の段階へ

「ようこそ!」と書かれた木札のかかった木戸を開ける。「ご無沙汰してますー。お久しぶり」と迎えてくれたのは「子育て支援グループamigo」の石山恭子さん。と志田美保子さん。

未就園の子どもと親たちの居場所「ルツの家×おでかけひろば@あみーご」をひらいて5年が経った。世田谷区の補助事業である「おでかけひろば事業」で週3日だった活動を2014年4月からは週5日に、7月からは「小さな預かり」という名前で週に3日一時預かりも始めた。



活動が拡大してさぞかしてんやわんや、と思いきや2人からは不思議なくらい気負いは感じられない。「まさにこの場所が根付き、地域の居場所として機能してきている実感がありません」と石山さん。経験を重ねることで運営する側も成熟してきた。いつ来ても開いているのが安心という声に添えて、3日を5日に決めたと言う。

この数年は、この家のオーナーであった安原美世子さんの急逝であったり、いろいろあったはずだが流れている時間は最初の頃と変わらない。小さな子どもをゆったりと迎え入れる雰囲気はそのままで。「はい! いっちょあがり!」

庭で水遊びをし、全身ずぶぬれの子どもがお母さんに抱っこされて入ってきた。皆の笑顔の中お風呂場へ。「あの子はここ

### いただいた種が芽を出し、少し育て

もうひとつ、この5年の大きな蓄積とも呼べるものがある。それは現在のスタッフの半分以上がここで子育てを経験した親たちだそう。地域のお母さんの働き方の選択肢のひとつになっていったらと思ひ、今年の5月にはNPO法人格も取得した。はたから見ていると、変化が大きいような気がするが、どれもがひとつひとつの時間をていねいに積み重ねてきたことなので、この場にとってはどれも自然な流れなのだろう。

「子どもたちは私たちの宝物。その宝物を大事に育てていくために、この場が地域で育っていくことを願っています」

安原さんが残したこの言葉を一歩ずつ進めている「ルツの家×おでかけひろば@あみーご」。

「いつも何かを変えたり、決めたりする時は話すんです。安原さんの理念からはずれていないか、これで良いかと。だって私達の子育てもまた安原さんに助けていただきましたから」

と、2人からは晴れ晴れとした笑顔の答えがかえってきた。



■DATA  
所在地 世田谷区松原4-2-18  
連絡先 03-3328-4411  
http://www.kosodate-amigo.com/  
活動日 毎週月～金曜日(祝日を除く) 10:00-15:00

## いえ ♡ モノノコト

**6 在林館** 木漏れ日のギャラリー  
の古くて鮮やかな絵葉書たち



激しい独逸戦闘の地ヴェルダン(仏)の絵葉書。右図「ヴェルダン」ニアル記念碑ナリ獅子ガサモ疲勞シテ伏シ居様ハソゾロニ當時ヲ追懐スルニ余リアリと喜友は記している。

内外の骨董市でよく見かける古い絵葉書。在林館にはそれが3000枚近くあるようです。その多くは在塚喜友(1881-1945)によってアルバムに整理されています。内容はまだ不詳ですが、企画展「1924 欧州絵葉書旅日記: ドイツ編」では、第一次世界大戦後の風景とともに、そこを訪れた喜友の感慨をお伝えしました。今後も明治以降の日

本やアジア各地の失われた生活風景などを展示していく予定です。この時代の絵葉書のテーマの幅広さやデザインの魅力も併せてお伝えできることでしょう。(在林館館主 在塚礼子)

■DATA  
所在地 世田谷区羽根木2-34-4  
連絡先 03-3321-0530  
http://aririnkan.blog.fc2.com/  
活動日 毎週木曜日 午後(8月はお休み)

## 世界から視察が来ています

トラストまちづくりでは、ここ数年に、韓国、タイ、トルコ、アフガニスタンなど、海外からの視察を受けてきました。訪問動機を伺うと、「市民参加のまちづくりを学びたい」、「まちづくり支援の仕組みを考えたい」など、これから参加や協働に取り組む参考にしたいという返事が返ってきます。世田谷の事例が海外でも役立つのであれば、とてもうれしいことです。

また、我々の事業の全体概要を紹介したのちに最も多くの質問が出されるのが、「地域共生のいえ」についてです。自宅を地域づくりに活かしているという、他には見られない制度の独自性が新鮮に映るのでしょう。そして、現場を訪れそこに集う人々との交流を終えると、皆一様に顔をほころばせて帰っていきます。コミュニティ再生は、国を問わず、現代都市の共通



## 森のこみち

(小金井市)

■ルーテル学院大学と三鷹市、武蔵野市、小金井市のそれぞれの行政と社会福祉協議会で共催された「地域福祉ファシリテーター養成講座」の同期生有志「チーム小金井の縁がわ」が開催するお庭と古民家の地域開放。

住所 小金井市本町4-10-22  
TEL 042-387-0011 (小金井ボランティア・市民活動センター)  
活動日 毎月第4木曜日 10:00~15:00  
たち寄り料金 100円  
ブログ http://morinokomichi.tamaliver.jp



小田代さんご夫妻



## 古民家で皆がひと息 ■ 居場所で横のつながりを

モミジ、ツツジ、カリン、ケヤキ。みどりが寄り添って涼しい風が吹き抜ける。ここは、小田代さん夫妻の自宅。ご主人が丹念に手入れを欠かさない庭は、まるで深い森の中にいるようだ。築80年になるという母屋は見事な無垢の木が一本そのまま梁に使われている。このいえと庭を2013年7月から、月に一度「たち寄り処 森のこみち」という名前で地域に開いている。

奥様の小田代陽子さんは長年特別養護老人ホームで介護福祉士として働いてきた。まもなく定年退職という時に東日本大震災が日本をゆさぶった。宮城県石巻市出身である彼女は現地へ。と、同時に社会福祉協議会の「地域福祉ファシリテーター養成講座」を受講した。

当時のことを「ただ夢中で、突き動かされるように動いていました」という。同期で受講した木場征夫さんもこの時期報道を見て衝撃をうけていた。「それまでは地域活動には全く興味がなかった」という。大きな災害に背中を押されるように受講した講座で地域を知る機会が訪れた。この講座の同期生が2012年に「チーム小金井の縁がわ」を結成。横のつながりができるような地域の居場所があったらと話していた時、「じゃあ、よかったらうちを使って」と小田代さん夫妻から申し出があり、すんなり実現したという。

チーム小金井の縁がわでは、新しく住んだ人にも一息つける居場所のガイドマップ「ほっと一息寄り道マップ」を作成。北西エリア・南東エリア編が完成したので次のエリアに着手したいそう。

訪れる人の中には、ここで子どもの頃よく遊んだという人も。思い出の詰まったいえでの話題は自然と昔話。童心にかえって笑顔がはじける。

祖父が建てた家で、ご主人が庭の手入れをし、皆を迎え入れる時間は小田代さん夫妻にとってもかけがえのない時間になりつつあるようだ。

まちのお茶の間 岡さんのいえTOMO

鉄ちゃんカフェ  
8月29日、9月19日、10月17日、11月21日  
各日15時~18時

映像や資料等による鉄道教室と模型車両運転会です!  
マイ・トレイン(9mm ゲージ)持ち込み歓迎!

■DATA  
所在地 上北沢3-5-7  
連絡先 090-8332-7514  
https://www.facebook.com/okasannoie

ちいきの「元気」を育てる発信基地  
COS 下北沢 ×NPO 法人コスファ  
「10周年記念・こすきた祭り」  
10月18日(土)、19日(日)  
現在企画中!  
詳しくは http://npocosfa.com/ まで

■DATA  
所在地 北沢 2-39-6  
連絡先 03-3481-5340

ありんかん  
木漏れ日のギャラリー 在林館  
「(仮)代田橋分譲地での暮らし」  
9月中旬~11月頃まで  
毎週木曜日 午後

週末のギャラリーイベントも企画中。  
詳しくはブログ在林館通信 (http://aririnkan.blog.fc2.com/) をご覧ください。  
※8月は休館します

■DATA  
所在地 羽根木 2-34-4  
連絡先 03-3321-0530

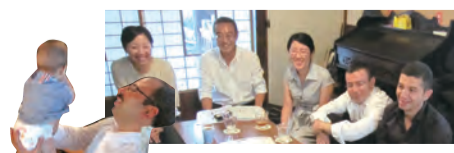
## クロスロード

武蔵野の面影を色濃く残す庭と、築80年になる母屋を月に1回地域の居場所として開いて1年。ゆるやかなつながりの場へ。

## 掲示板

## 「トラまち」から

課題となっていて、その解決のヒントを「地域共生のいえ」が投げかけているからだと思います。(担当: YA)



大正から引き継がれる空間  
読書空間みかも

今年も開催します!  
「みかもバザー」  
10月4日(土)・5日(日)

ご家庭の不用品などありましたら、ご連絡ください。

時間は後日、  
http://www.tamamati.com/network/net6.html に掲載します。

■DATA  
所在地 奥沢2-33-2  
連絡先 03-3718-2011